

三鷹倉庫とパインツリー



シンプルかつインパクトのあるデザインに

三鷹倉庫(関武士社長、大阪市生野区)と、同社の輸送を支えるパインツリー(松室正行社長、同)は、トラックのデザインをリニューアルし、5月から本稼働させている。三鷹倉庫の企業カラーをあしらうとともに、会社のテーマを取り入れ、認知度向上やブランディング、イメージアップを図った。

パインツリーのトラック7台をラッピング。白色をベースに、企業カラーの緑色を施した爽やかなカラーリングとし、シンプルかつインパクトのあるデザインに仕上げた。

「お客様へより良いサー

トラックデザイン刷新

認知度・イメージアップへ

ビスを届け、物流業界を支える企業になりたい」との思いから、会社のテーマでもある「MAKE A GOOD LOGISTICS」「物を繋ぐ」「心を繋ぐ」「未来を繋ぐ」の文字を大きく入れた。

パインツリーは、大阪、神戸をメイン拠点に全国へ輸送を展開。三鷹倉庫と共通の荷主と取引しており、両社で協力して輸送の効率化を実現してきた。

パインツリーの松室社長は「トラックの荷台は良い広告になるので、お互いの会社をPRできる。また、ドライバーが車体に傷を付けないよう、安全意識を更に高めてくれると期待している」と話している。

(根来冬太)